

国際理解教育講師等派遣事業

令和6年度報告

ワールドキャラバン



主催：茨城県国際理解教育推進協議会

茨城県教育庁学校教育部義務教育課
茨城県教育庁学校教育部高校教育課
茨城県教育庁学校教育部特別支援教育課
茨城県教育庁総務企画部生涯学習課

茨城県営業戦略部国際渉外チーム
独立行政法人国際協力機構筑波センター
茨城地域留学生交流推進協議会
公益財団法人茨城県国際交流協会

ワールドキャラバンとは

県内の学校や、生涯学習関係機関、並びに国際交流団体等が国際理解の促進を目的とした事業を行う際に、外国人等講師や参加型学習のためのファシリテーターを派遣する制度です。参加者に、外国人と直接対話する機会や、開発教育のワークショップ等を体験する機会を提供することによって、国際理解を深め、国際社会で活躍できる人材の育成を図ることを目的としています。

小学校事例

神栖市立息栖小学校

学 校 長：長末 正也
実施日時：令和6年9月20日(金) 13:40~15:20
実施場所：教室、多目的室
対 象：6年生102名
講 師：レー ティ フェさん/ベトナム/留学生親善大使
許 穂さん/中国/各国事情紹介講師

【活動内容】

- 母国語のあいさつ、自己紹介
- 画像や地図をみながら出身国の紹介
(人口、自然環境、小学生の生活の様子、運動会、民族衣装、文化など)
- 質問タイム
- ベトナムと日本の踊りの交流

= 児童の感想 =

- ◆ 中国の講師の方が民族衣装のチャイナ服を持ってきてくれて、実際に着て良いとおっしゃってくれました。チャイナ服を着ることができて、とても嬉しかったです。
- ◆ ベトナムの講師の方は、ベトナムに関するクイズを出してくれたり、ベトナムの民族衣装を着て踊りを見せてくれたりしました。ベトナムの踊りはとても綺麗でした。こちらも踊りのお礼として、日本のよさこいを踊ってみせたら、講師の方はとても喜んでくれました。楽しい時間を過ごすことができました。

= 先生の感想 =

- ◆ 今回の講師のお二人は、日本語がとても堪能で、電話での打合せが大変スムーズに出来たので、ありがとうございました。実施して頂いた内容も、当日の子供たちへの授業に結びついていて良かったと感じました。また、発表資料もたくさん用意してくださって、子供たちも興味深く学習に取り組むことができました。発表の構成は45分間を2回分でおりましたが、お二人とも時間ぴったりに終わるように内容もまとめてくださったことにも感謝いたします。このような機会をいただいたことにも心からお礼申し上げます。ありがとうございました。



小学校事例

日立市立坂本東小学校

学 校 長：宮田 弘美
実施日時：令和6年12月17日(火) 13:05~15:00
実施場所：教室
対 象：4年生74名
コーディネーター：畦崎 敏子さん
講 師：ムハンマド ファルハン アマンダさん
/インドネシア/留学生親善大使
グエン ティ ゴック アインさん
/ベトナム/留学生親善大使
トン タット トウアンさん
/ベトナム/留学生親善大使

【活動内容】

- 自己紹介
- インドネシア、ベトナムの紹介
(自然環境、学校、文化、食べ物、言語など)
- 質問タイム
- 記念撮影

= 児童の感想 =

- ◆ ベトナムの人の服装は、アオザイという伝統的なものであることが分かりました。他にも、ノンラー（伝統的な円錐形の帽子）を頭に被らせてもらった時に、とても軽くて、なのに頑丈でびっくりしました。
- ◆ 食べ物や、月見などの行事のことを教えていただきました。おいしいそうな食べ物がたくさんあって、ぼくも食べてみたくなりました。

= 先生の感想 =

- ◆ 外国の方の話を直接お伺いでき、有意義な時間でした。
- ◆ 日本と講師の方々の母国を比較しながら話をしてくださり、児童たちはよりそれぞれの国の特色について理解することができました。
- ◆ 日本の文化と比べた視点で話をしてくださり、児童も理解しやすかったです。写真もたくさん用意して頂いたことで、興味をもって聞くことができました。またスライドの内容、時間配分もちょうど良かったと感じます。ベトナムのアオザイを着用して来てくださったリ、ノンラーを被らせていただいたりしたときの児童の反応が良かったので、実際に触れる機会があると更に良い活動時間になるのではないかと考えました。



中学校 事例

茨城県立太田第一 高等学校附属中学校

学 校 長：谷津 勉
 実施日時：令和6年12月9日(月) 8:40~13:30
 実施場所：調理室、武道場
 対 象：1年生40人、2年生40人、3年生40名
 講 師：永作 ヴィリンヤーさん/タイ/各国事情紹介講師
 【活動内容】

- タイ料理（ヤムウンセン）の調理体験
- 生徒たちと一緒に給食を食べる
- 講演会 ● 質疑応答

= 生徒の感想 =

- ◆ タイの文化や行事、宗教を知ることができてよかったです。
- ◆ 調理体験や講演を通じて、タイに行ってみたいと思いました。
- ◆ 異文化を知ることができる貴重な機会でした。
- ◆ 自分の知らない文化を知ることができてよかったです。
- ◆ 講師の先生の「その国に行く前にその国のことをよく知ることが大切」という言葉が印象に残りました。



= 先生の感想 =

- ◆ 講師の方が非常に協力的で、打合せ・計画時から当日の調理、講演会まで学校側の相談に応じてくださいました。生徒自身が調理を行い、実際に本場の味を体験することで、講演だけでは分からない貴重な体験をすることができました。
- ◆ 調理を通して生徒と講師の方との交流が盛んに行われていました。講演会においても講師の方に対して、生徒から積極的な質問が多数あり、盛り上がりを見せました。
- ◆ タイの料理を学校の調理室で調理し、味わえたことは生徒たちにとって大きな学びに繋がりました。
- ◆ 調理に関して授業時間の制限があったため、時間内に終了させることが難しかったと感じました。
- ◆ 講演会では、生徒たちが講師の方の話を聞くだけでなく、質疑応答の時間を十分設けてくださったので、生徒の知りたいことが多く知ることができました。



中学校 事例

筑西市立下館西中学校

学 校 長：久下 典子
 実施日時：令和7年1月30日(木) 13:30~14:20
 実施場所：体育館
 対 象：1年生112名
 講 師：紙井 香織さん
 (JICA海外協力隊経験者 スリランカ派遣)

【活動内容】

- スリランカの紹介
- JICA海外協力隊活動の紹介 ● 質疑応答

= 生徒の感想 =

- ◆ スリランカの食べ物や服装、現地の様子などを教えていただきました。現地では朝昼晩カレーを食べることに驚きました。野菜や果物も豊富に収穫できると知り、うらやましいと思いました。
- ◆ JICAのお仕事についての話があり、教材を作ったり、ワークショップを開催したりすることを知って、自分もやってみたいと思いました。



= 先生の感想 =

- ◆ 国際理解協力とキャリア教育を兼ねて、JICA海外協力隊経験者である紙井さんに来ていただきました。紙井さんには以前の勤務校でも講演を依頼したこともあったため、今回の講演依頼に至りました。生徒の感想にもありましたが、スリランカの食べ物や衣服、習慣など、写真資料を交えて紹介していただいたので、興味深く聞くことができました。伝えたいことの中で、「手段」と「目的」を明確にするという話があり、今後生徒が職業を選ぶ際に、指針となる言葉になるのではないかと感じました。

本学年には、スリランカ出身の生徒が2人おり、シンハラ語での紙井さんとのやりとりでは、とても楽しそうな姿が見られ、紙井さんに来ていただいて本当に良かったと思いました。

講演の最中も生徒との対話が多く、短時間ではあったもののよい交流ができたと感じました。

機会がありましたら、今回の講演内容をぜひもっと多くの人達に聞いてもらいたいと思いました。



茨城県立大学

学 校 長： 細 貝 雅 之
実施日時： 令和 7 年 1 月 22 日（水） 13：20～15：10
実施場所： 教室
対 象： 1 年生 32 名
コーディネーター： 根本 久美子さん
講 師： トウライワリン パッティーラーさん
/タイ/留学生親善大使
ホブマン エマ ルイーズさん
/ニュージーランド/留学生親善大使

【活動内容】

- パワーポイントを使用し、各講師による出身国の紹介（地理、文化、食事、学校の様子など）
- 質疑応答

= 生徒の感想 =

◆他国についてあまり興味がなかったのですが、お話を聞いて少し興味が湧き、他にも色々な国について知りたいと思うようになりました。



想像以上に知らないことが沢山あり、聞いていて楽しかったです。これからも機会があればこのような活動に参加したいと思いました。また知識が増えるだけでなく、英語の勉強にもなったので良かったと思います。

◆タイの話を聞いて、朝の8時と18時に国家が流れて、流れている時間は止まらないといけないルールがあることに驚きました。

◆日本とは違う料理、特に昆虫の素揚げを食べることに驚きました。

◆緊張しながらではありますが、覚えている英単語を組み合わせて会話ができたので良かったです。

◆ ニュージーランドでは人よりも羊の数が多くてびっくりしました。また島が多く、とても綺麗な場所がいくつもあると感じたので、いつ行ってみたいと思いました。

= 先生の感想 =

◆生徒全員が外国人と交流する機会を設けることが難しい中、このような形で国際交流を行うことができて良かったです。本校の生徒たちにとって身近な外国人はALTですが、他の外国人の方々とも交流することで少しでも視野が広がっていくことを期待したいです。

◆生徒達は興味を持って積極的に今回のワールドキャラバンを経験することができたと思います。事前に質問を用意していたため、当日は困ることなく進行できていたので良かったと思います。

◆外国の食べ物など生徒のイメージがつかないものの話が出た時に、電子黒板ですぐに検索して、実物を映すことで盛り上がっていたため、次回も近くに電子黒板を置いておくと、生徒の理解が深まって良いと感じました。



高等学校事例

つくば国際大学高等学校

学 校 長：横島 義昭
実施日時：令和6年11月26日(火) 13：20～15：10
実施場所：視聴覚室
対 象：2年生36名
コーディネーター：菊地 方美さん
講 師：張 若男(チョウ ジャクナン)さん
／中国/留学生親善大使
赤塚 ダヤナンドニさん
／スリランカ/各国事情紹介講師
田中 アルバさん
／ニカラグア/各国事情紹介講師
ファム ティ トゥイ ハーさん/ベトナム

【活動内容】

- 講師による自己紹介
- グループワーク
- グループごとの交流会

= 生徒の感想 =

◆ 4カ国の講師の方々のそれぞれの国の気候、文化、学校の様子、社会情勢など、日本と異なる部分を多く知るきっかけとなりました。

◆それぞれの国の食材や、衣服などの実物に触れることで、「行ってみたい」という声が多くあがりました。

◆事前学習として調べたこと以外の情報を知ることが
できる良い機会となりました。



= 先生の感想 =

◆少人数のグループ交流で講師の方と直接話す機会が増えて、生徒たちが楽しく会話できていた様子でした。

◆多様な国籍の方々と直接交流することで、生徒たちが国際社会への理解を深める良い機会となりました。

◆ 4カ国の講師の方々から、それぞれの出身国の多様な文化、社会、生活の在り方を聞くことができて、生徒にとって貴重な体験となりました。グループ交流では、生徒は講師の方々に質問などをしながら、積極的に交流する姿が多く見られ、各国に興味や関心を抱いていました。この活動を通じて、生徒たちの今後の更なる相互理解や国際人としての意識改革に繋がる機会となりました。



特別支援 学校事例

茨城県立美浦 特別支援学校

学 校 長：鈴木 和子
 実施日時：令和6年12月4日(水) 10:40~11:50
 実施場所：多目的室
 対 象：中学部2年29名
 講 師：ポーセン ミシェルさん
 /アメリカ/県国際交流員(CIR)

【活動内容】

- 講師自己紹介
- カード交換ゲーム (英語でのやりとり)
- アメリカの紹介
(パワーポイントを使用、クイズを交えて)
- 質疑応答 (生徒から質問)
- ダンス
(アメリカのスイングダンスのステップを学び、一緒に踊る)
- 手話と一緒に歌う

= 生徒の感想 =

- ◆ スイングダンスを一緒に踊れて楽しかったです。
- ◆ カード交換ゲームが楽しかったです。



= 先生の感想 =

- ◆ 話を聞くだけでなく、動きのある活動(ダンス、じゃんけん、英語のやりとり)があって、どの生徒も楽しむことができました。
- ◆ こちらの提案に講師の方が合わせてくださり、一緒に手話で歌を歌うことができてよかったです。講師の方を迎えて活動ができる喜びの気持ちを伝えることができました。
- ◆ 講師の方が臨機応変に日本語と英語を使ってくださって、生徒たちも気後れせずに交流ができました。
- ◆ 講師の方との打合せでは交流の内容についてとても丁寧に説明して頂いたので、当日もスムーズに進行することができました。
- ◆ 用意して頂いた発表や活動内容が、本校の生徒たちの実態に合っていたように感じました。パワーポイントも生徒の興味をひく内容で用意して頂き、楽しみながら外国の文化を知ることができた貴重な経験となりました。
- ◆ ワールドキャラバンの活動を通して、本校生徒があまり触れる機会の少ない外国の方との交流を楽しむことができました。



生涯学習 事例

牛久市国際交流協会

会 長：沼田 和利
 実施日時：令和7年1月17日(金) 10:00~11:30
 実施場所：牛久市中央生涯学習センター 大講座室
 対 象：市民、市内高校生、事務局員 計58名
 コーディネーター：村尾 光子さん
 講 師：謝 昕(シャキン)さん/中国/いばらき応援大使
 【活動内容】

- 令和6年度第4回 国際理解教育講座
 「中国は近いけれど我々は本当に中国のことを知っているのか？」ということを起点に企画し、「中国を知ろう!」と題して本講座の開催に至った。講師は用意したPPT「隣の国 中国」を基に、出身地である広東省=中国南部と中国北部を対比する形で、地理・気候の違いやそれらを要因とした作物・食文化を皮切りに中国国内の多様な言葉・人々の価値観・歴史を軸に約30分テンポよく講演された。講演後は、参加者と活発な質疑応答が交わされた。

= 参加者の感想 =

- ◆ 学生から多くの質問が出て盛り上がりました。

= 担当者の感想 =

- ◆ 謝 昕氏の講演は、約30分の中に大国中国の情報が大変理解しやすい内容で盛り込まれ、参加者も終始集中して聞いていた。時折アニメの話題を交えたり、日本と中国の学校教育事情の違いにも触れたり、高校生も興味深く話に耳を傾け、和やかな雰囲気の中で活発に質疑応答がなされた。中国を訪れたことのある参加者からの質問や、中国語で質問する参加者など、講演内容よりも更に踏み込んで参加者は理解を深められたと思う。
- ◆ 広東省の情報をキーにして、風土や歴史に基づく中国の事情や、中国の現状を幅広く知ることができた。質疑応答では、参加者各々が興味を持つ事をピンポイントで質問することができ、様々な質問・回答を皆が共有することで中国への理解をより広く深められることができ大変有意義であった。
- ◆ 世代によって質問内容が異なることで、双方が知り得なかった中国の情報を、世代を越えて知り得ることができたのではないと思う。広東省の方の口癖は「(知らない方にも)よかったら一緒に飲茶行きましょうか」(飲茶も広東省が起源)、広い中国においてフレンドリーさを物語るエピソードであると感じた。



ワールドキャラバン 活用のバリエーション

ワールドキャラバンには、国際理解を深めるための様々な活用法があります。
イベントや交流会等、目的に合わせた場面でご活用ください！

民族楽器演奏体験



(学校法人 緑丘学園EIKOデジタルクリエイティブ高等学校 水戸校)

民族舞踊



(龍ヶ崎市立松葉小学校)

各国料理教室



(つくばみらい市立伊奈公民館)

民族衣装試着体験



(茨城県立古河中等教育学校)

国際理解教育ワークショップ



(牛久市国際交流協会)

JICA海外協力隊体験談



(水戸英宏小学校)

留学生シンポジウム



(茨城県高等学校国際教育研究協議会)

NGO団体の支援活動紹介



(小美玉市立美野里中学)

* 活用例の詳細につきましては、背表紙(3)ワールドキャラバン活用の例をご覧ください。

令和
6年度

ワールドキャラバン

実施校／団体
一覧表

No.	派遣先	開催日
1	牛久市国際交流協会（1/5）	令和6年 5月18日
2	つくばみらい市立伊奈公民館（1/4）	令和6年 5月18日
3	メサフレンドシップ	令和6年 5月21日
4	牛久市国際交流協会（2/5）	令和6年 6月7日
5	銚田市立大洋小学校	令和6年 6月20日
6	茨城県立図書館（1/3）	令和6年 6月30日
7	茨城県立水戸桜ノ牧高等学校	令和6年 7月3日
8	小美玉市立小川南小学校	令和6年 7月8日
9	牛久市国際交流協会（3/5）	令和6年 7月20日
10	つくばみらい市立伊奈公民館（2/4）	令和6年 8月3日
11	稲敷市立あずま西小学校	令和6年 9月11日
12	茨城県高等学校国際教育研究協議会	令和6年 9月11日
13	小美玉市立玉里学園義務教育学校	令和6年 9月13日
14	神栖市立息栖小学校	令和6年 9月20日
15	茨城県立協和特別支援学校	令和6年 9月25日
16	茨城県立つくば特別支援学校	令和6年 9月26日
17	古河市立水海小学校	令和6年 9月26日
18	守谷市立守谷小学校	令和6年 10月1日
19	土浦市立右廻小学校	令和6年 10月2日
20	水戸内原国際交流ふれあいの会（1/3）	令和6年 10月5日
21	那珂市国際交流協会（1/3）	令和6年 10月6日
22	茨城県立友部東特別支援学校	令和6年 10月9日
23	つくばみらい市立伊奈公民館（3/4）	令和6年 10月19日
24	茨城大学教育学部付属特別支援学校（1/2）	令和6年 10月25日
25	つくば開成高等学校	令和6年 10月25日
26	茨城県立茨城東高等学校	令和6年 10月30日
27	茨城県立並木中等教育学校	令和6年 10月31日
28	笠間市立岩間第二小学校	令和6年 11月6日
29	茨城大学教育学部付属特別支援学校（2/2）	令和6年 11月7日
30	神栖市役所 政策企画課	令和6年 11月9日
31	つくばみらい市立伊奈公民館（4/4）	令和6年 11月9日
32	茨城県立土浦第一高等学校（定時制）	令和6年 11月15日
33	茨城県立土浦湖北高等学校	令和6年 11月18日

No.	派遣先	開催日
34	笠間市立岩間第三小学校	令和6年 11月18日
35	石岡市立杉並小学校	令和6年 11月21日
36	牛久市国際交流協会（4/5）	令和6年 11月21日
37	守谷市立松ヶ丘小学校	令和6年 11月25日
38	つくば国際大学高等学校	令和6年 11月26日
39	牛久市立おくの義務教育学校	令和6年 11月29日
40	石岡市城南地区公民館	令和6年 11月30日
41	茨城県立図書館（2/3）	令和6年 11月30日
42	茨城県立美浦特別支援学校	令和6年 12月4日
43	那珂市国際交流協会（2/3）	令和6年 12月4日
44	北茨城市立関本小学校	令和6年 12月6日
45	水戸内原国際交流ふれあいの会（2/3）	令和6年 12月7日
46	茨城県立太田第一高等学校附属中学校	令和6年 12月9日
47	茨城県立石岡特別支援学校	令和6年 12月10日
48	公益財団法人 水戸市国際交流協会	令和6年 12月14日
49	茨城県立伊奈特別支援学校	令和6年 12月17日
50	日立市立坂本東小学校	令和6年 12月17日
51	石岡市立恋瀬小学校	令和6年 12月19日
52	茨城県立図書館（3/3）	令和7年 1月13日
53	牛久市国際交流協会（5/5）	令和7年 1月17日
54	茨城県立土浦特別支援学校	令和7年 1月21日
55	茨城県立大子清流高等学校	令和7年 1月22日
56	清真学園高等学校・中学校	令和7年 1月25日
57	那珂市国際交流協会（3/3）	令和7年 1月28日
58	筑西市立下館西中学校	令和7年 1月30日
59	水戸内原国際交流ふれあいの会（3/3）	令和7年 2月1日
60	茨城県立麻生高等学校	令和7年 2月3日
61	古河市立古河第六小学校	令和7年 2月18日
62	水戸英宏中学校	令和7年 2月18日
63	筑西市立新治小学校	令和7年 2月19日
64	愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校	令和7年 2月19日
65	東海村国際交流協会	令和7年 3月8日
66	大成女子高等学校	令和7年 3月17日

令和
7年度

ワールドキャラバン 実施要領



(詳細は公益財団法人茨城県国際交流協会のホームページ<https://www.ia-ibaraki.or.jp/>をご覧ください。)

1 派遣内容

(1) 派遣先

茨城県内の小・中学校及び義務教育学校、高等学校（中等教育学校を含む）、特別支援学校、生涯学習関連団体

(2) 派遣する人材

A 外国人講師

- ①留学生（（公財）茨城県国際交流協会が任命した茨城県留学生親善大使等、茨城県内の大学や高校に在学する留学生）
- ②在住外国人（県内に在住する外国人（各国事情紹介講師）や県の国際交流員（CIR）、外国語指導助手（ALT））

B 日本人講師

- ①参加型学習を実施するファシリテーター（異文化理解、開発途上国への理解を深めるためのゲーム、ロールプレイなどを実施します）
- ②県内のNGO等国際交流協力活動実践者及び海外活動経験者
- ③JICA海外協力隊及びJICA専門家等

C コーディネーター（日本人）

企画内容について、派遣先の相談に応じ、講師との連絡・調整、当日の進行役をします。

(3) ワールドキャラバン活用の例

- ①総合的な学習の時間で、世界の遊びや民族衣装、舞踊など披露してもらう。（小・中学校及び義務教育学校）
- ②道徳や特別活動、社会科等の授業で、JICA海外協力隊の現地活動の様子等を紹介してもらう。（小・中学校及び義務教育学校）
- ③道徳の授業等で、留学生とともに昨今の社会問題について出身国の状況も踏まえながら話しあう。（高校）
- ④地理歴史・公民等の授業に外国人を講師として招き、出身国・地域の社会情勢や風土について紹介してもらい、理解促進の一助とする。（高校）
- ⑤世界の料理を紹介してもらい食文化の交流を図る。（生涯学習関連団体）
- ⑥県内のNGO等国際交流協力活動者を講師として招き、団体の活動内容に関する講演を行ってもらい、国際協力や国際理解・国際貢献の重要性を知る。（生涯学習関連団体）
- ⑦ファシリテーターの進行により、シミュレーションゲームやロールプレイ、ワークショップを体験する。

2 申し込み手続き

○派遣を希望する学校は、派遣申請書を募集期間内に協議会事務局まで提出してください。

募集期間 令和7年4月1日～令和7年6月30日
事業実施期間 令和7年9月1日～令和8年2月28日

※学校・団体で費用負担可能な場合、この限りではありません。ご相談ください。

Check!

国際理解教育教材「ワールドボックス」貸出しのご案内

県内の国際理解教育推進のための役立つ教材（各国の国旗、民族衣装、工芸品、図書等）を各学校や生涯学習センター、その他国際理解教育を実施する個人・団体に貸出します。

教材の紹介、貸出方法や申請書のダウンロードは、公益財団法人茨城県国際交流協会のホームページをご覧ください。

お問い合わせ先

茨城県国際理解教育推進協議会事務局（公益財団法人茨城県国際交流協会内）
〒310-0851 茨城県水戸市千波町後川745 ザ・ヒロサワ・シティ会館分館2階
TEL：029-241-1611 FAX：029-241-7611 E-mail：iia@ia-ibaraki.or.jp

